

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成 26年 6月 10日		
所属学部・研究科	法学部	3年次 (留学開始時点)		
留学先大学	ミネソタ大学 (国名: アメリカ合衆国 )			
所属学部・学科等名	College of Liberal Arts			
在籍身分	Undergraduate			
留学期間	平成 25年 9月 1日 ~ 平成 26年 5月 16日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: J-1			
	ビザ申請先: 大阪米国総領事館			
	取得方法, 提出書類: 既定のアプリケーションフォームの提出			
	手続きに要した日数: 二週間程度			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 25年 8月 15日			
経路	関空→広州→ロサンゼルス→ミネアポリス			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( <del>大学関係者</del> ・その他 ) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	8月の終わりに2日間ほど。1日は留学生用で、もう1日は交換留学生用。			
帰国年月日	平成 26年 5月 21日			
経路	ミネアポリス→ロサンゼルス→羽田			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	155,0000	円	
	内訳	渡航費	220,000	円
		保険料	200,000	円
		教科書代(学費)	50,000	円
		宿舍費	780,000	円
		食費	300,000	円
		その他 (            費)		円
(            費)		円		
(            費)		円		
<b>3. 授業について</b>				
3年 秋学期	9月 1日	~	12月 18日	

4年 春学期	1月 20日 ~	5月 16日
年 学期	月 日 ~	月 日
年 学期	月 日 ~	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)		
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること	
学術面に関する後輩へのアドバイス	予習をしっかりと行うとよいと思います。	
<b>4. 生活等について</b>		
(1) 留学先の住居について		
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )	
住居の広さ	約 m <sup>2</sup>	同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 3人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( 洗濯機, 乾燥機 )	
住居費	1ヶ月当たり (現地通貨)\$850	約 85,000円 (\$1=100円)
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
留学先での住居全般に関するアドバイス	自炊の有無等、自分の条件に合わせて選ぶと快適に過ごせると思います。	
(2) 医療について		
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった	
入院した場合	により 日入院	
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった	
掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
掛け金は	年間 \$1980 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ( )	
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	西条ときわクリニック 破傷風、ジフテリア、おたふく、風疹	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	学校に付設した病院はありますが、歯医者は保険の対象外です。	

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	特になし	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
秋学期の前半は、ほぼ毎日銃に関する事件が大学の構内でありましたが、私自身が危険を感じたことはありません。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
冬は本当に寒いです。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 27年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 27年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	就職予定	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	就職活動に関しては、アメリカのボストンで開かれた日経企業のキャリアフォーラムに参加しました。	
<b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
留学は、自分の気持ちや行動次第で最高のものにも、最低のものにもなります。しっかりとした目標も持って楽しんでください。きっと、人生で最高の1年間になるはずです。		

## 学習の概要に関するレポート

私が交換留学生として行ったミネソタ大学は、学習面については非常に優れていたと感じます。私は広島大学では法学部に在籍していますが、ミネソタ大学では **College of Liberal Arts** という比較的広範囲な授業が取れる学部にて在籍していました。ミネソタ大学では、法学部が他学部とは別に設けられており、交換留学生の身分では法学部の授業は難易度が高くなり履修できないため、法学系以外の授業を履修し、専門授業の履修といよりも英語力の向上を第1目標に掲げていました。そのため、今回は主に **English as a Second Language** (通称 ESL) の授業に関して書こうと思います。

ミネソタ大学の ESL の授業は、スピーキング1つとっても、発音やアカデミックな場面でのプレゼンテーションを重視した授業など様々あります。基本的なリーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの授業もレベルに応じてあるので、自分に合った授業を選択できます。その中で私は、秋学期に **Grammar** の授業とメールやスモルトークなど日常生活で必要とされる能力を養う授業を履修しました。最高難易度の授業でしたが、どちらの授業もレベルとしては比較的容易でした。これからミネソタ大学に留学される皆さんなら、最高難易度の授業を履修することをオススメします。

春学期は、**Speaking for Academic Purpose** の授業と **Pronunciation** の授業を履修しました。前者では、基本的なプレゼン方法から始まり、タイムマネジメントやどのように聞き手を惹きつけるかといったより自分のプレゼンを洗練させる方法を学びました。後者では、ただ単に発音を練習するだけでなく、イントネーションであったり、アメリカ英語独自の話し方や語尾の省略の仕方などかなり具体的な点も学ぶことができ、私にとってはこの授業が自分の英語力向上に一番寄与したと感じました。上記したことからも分かるように、私は前期にどちらかという書きいたり覚えたりといった授業を履修し、後期にそれらをアウトプットするためにスピーキング形式の授業を履修しました。結果的に、この方法でよかったと感じています。これから留学される皆さんも、英語力といっても特に何を伸ばしたいのかということ念頭に置きながら、授業の履修順序を考えたらいいと思います。

ESL 以外にも、私は **Marketing** や **Mass Media Effects** の授業など興味がありながらも広島大学では履修できない授業を履修しました。毎日の課題の多さに最初こそ慣れませんでした。各授業と一緒に勉強する友人を作ることで、楽しみながら乗り越えることができました。学費は高いですが質も高いアメリカの授業を広島大学の学費で受けることができる **HUSA** プログラムは、本当に貴重なプログラムだと感じました。日本に居ては学べないことや経験できないことが多くつまったこのプログラムで、語りつくせないほど多くのことを学びました。



## 生活の概要に関するレポート

私がアメリカ留学に際して一番心配していたのは食事でしたが、ミネソタ大学の場合はキャンパス内に様々な国のレストランがあり、むしろ日本より充実しているという印象を受けました。寮に住んでいるとミールプランがついてくるため、スーパーへ食材を買いに行くというのはあまりないと思いますが、私が住んでいた **University Village** はアパート形式のため、食材を調達する必要がありました。しかし、スーパーマーケットもバスで10分程度のところにあったため、特に不便さを感じたことはありませんでした。

また、アパート内にはコンピュータ室や自習室、ジムや共有娯楽用ルームまであり、かなり快適な生活を送ることができました。私は **4 person-4 bedroom** 形態の部屋を選択したので、シェアルームではありましたがベッドルームは個人個人に用意されており、大きな問題もなく、週末にはルームメイトとそれぞれの国の料理を作って共に食事をするなどしました。このように、プライベートな空間がありながらも英語を話す空間に身を置けるというのがルームシェアの利点だと思います。

次に気候についてですが、私が留学していたミネソタ大学はアメリカ北部に位置しているため、冬はかなり冷え込み、 $-30$ 度にもなります。私が留学していた期間には、寒さの影響で学校が休みになったことが2回ほどありました。冬の時期はバスなどの公共交通機関が遅れることがほとんどなので、時間に余裕をもって過ごしたらいいと思います。来年度からは、**Light Rail** が開通するようなので、移動手段も増え、かなり楽になると思います。

治安に関しては、やはりいいとは言えません。私自身が危険な目に遭ったということはありませんでしたが、秋学期はほぼ毎日銃に関する事件が起きていました。夜間の1人での外出はなるべく避けた方がいいと思いますが、必要があるときは、学生のアルバイト警備員と一緒に歩いてくれるという制度もあるので活用したらいいと思います。

また、ミネソタ大学では様々な団体やサークルによるイベントが頻繁にあります。多くのイベントでは、それぞれの国のフリーフードが提供される上に、いろいろな国の方と仲良くなるチャンスなので、様々なイベントに出向くことをオススメします。もちろん、現地の団体が月に1度日本人のために日本食を振る舞ってくれるイベントもあるので、日本食が恋しくなる心配もそうはないと思います。スポーツ観戦に関しても、9月の留学開始時点から11月頃まではアメリカンフットボール、その後の冬のシーズンはアイスホッケー、そして春には野球といったように1年を通してスポーツ観戦ができますが、シーズンを逃せば観戦もできないので、観戦したいものはしっかり予定をあけて行くと、“アメリカ”を感じることができると思います。

